

## 平成25年度 年間事業計画

### 陣原保育所

平成24年5月に、遊戯室・一時保育室の床の張り替え工事という大きな改修工事を行い、子ども達が安心して遊べるようになりました。開所12年目ということで、前年度以上に修繕箇所が多くなるのではないかと思いますので、安全面に配慮し、優先順位を考慮し修繕計画を立てたいと思っています。

地域との連携については、前年度、交流を行っている老人会（亀山会）より「毎月土曜日に定期的に行ってきた事業の負担が大きい」との申し入れがあり、それを廃止にし、大きな行事の運動会・秋祭り・生活発表会・もちつきに無理のないよう参加していただきました。行事以外では、保育所の園庭にある畑の様子を見に来て下さったり、もちつきの前には、杵のささくれ立ちを綺麗に削って下さいました。子ども達も、自然と「おじいちゃん、おばあちゃん、またね。」と喜んで関わっています。また、その他の地域交流については、市民センターの行事への参加や老人施設訪問・小学校との交流等で、地域の方々や小学生などと会話が弾み、散歩をしていると声をかけて下さったりするようになりました。今後もよりよい交流を行っていこうと思っています。

今、自尊心を育んでいかなければならないということを言われていますが、保育所が行うべきことは何なのかを職員一人ひとりが考え、自らの資質の向上、保護者との密なる連携を図りながら保育を進めていきたいと思っています。

#### 【入所児童見込数】

年齢別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
園児数	8人	25人	16人	20人	22人	20人	111人

#### 【一時保育利用状況見込数】

未 満 児		以 上 児		合 計	
件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
200件	400,000円	0件	0円	200件	400,000円

※ 保護者などのパート就労や疾病、出産及び育児リフレッシュなどの理由により、一時的に家庭での保育に困難をきたした時、その子どもを保育所で保育する。したがって、通常保育の集団構成と異なることから、一人ひとりの子どもの心身の状態、保育場面への適応状況などを考慮して保育するように心がける。

【職員配置】必要に応じて、日々雇用職員を雇用する。

#### 【延長保育利用状況見込数】

利用登録人数（年間）	150人	平均実利用者数	8人
------------	------	---------	----

※ 異年齢児の関わりを大切にした遊びを中心に、一人ひとりが安定して過ごせるようなゆったりとした雰囲気の中で保育を行い、子ども達が心理的不安に陥ることのないよう遊びを工夫し保育を行う。

【職員配置】正規保育士・臨時保育士 各1名（ローテーション・時間外にて対応）

## 1. 保育理念

児童福祉施設として乳幼児の最善の利益を考慮し、安全で健全な心身の発達を図り一人ひとりの特性に応じた人間性豊かな児童の育成を目指します。

## 2. 保育方針

乳幼児の精神的安定を図り、安全保育を重視した集団の中で一人ひとりを大切に健康で丈夫な身体を作る。

また、生活に必要な基本的な生活習慣や態度を身につけさせ、日常の保育の中で思いやりのある意欲的な子どもに育てる。

## 3. 保育目標

- ① 明るく元気に、誰とでも仲良く遊べるようにする。
- ② 人を大切に思いやる、優しい心を育てる。
- ③ 自分の意志をはっきりと言い、相手の話すこともよく聞ける態度を育てる。
- ④ 生活習慣が身につき、自分で考えて行動できるようにする。
- ⑤ 感性豊かな創造性を育てる。

## ○ 保育内容

保育所保育指針を基に、年齢別の指導計画（年間、月間、週間）を立案し、子ども達に安定した生活と充実した活動ができるように、より良い環境の中で保育を進めていく。

また、様々な問題については、職員会議及び園内研修等で討議し、共通の理解のもとに諸問題に対応できるようにしていく。

## ○ 行事

年間行事（地域交流）予定（別紙1の通り）

- ・ 園外保育、水遊びの場合、事故防止対策をあらかじめ十分に検討する。
- ・ 遠足は、安全・体力面を考慮して目的を選択し、親子のふれあいの機会をもつ。（現地視察）
- ・ 生活発表会や運動会においては、個性を考慮しながら一人ひとりを大切に、楽しく参加できるようにする。

## ○ 安全対策

- ・ 毎月1回火災等の緊急事態を想定した避難訓練を行う。
- ・ 地震、災害を想定した避難訓練も年2回実施する。
- ・ 不審者の侵入を想定した避難訓練も年2回実施する。
- ・ 不法な侵害から子ども達を護るため、常に保護者と緊密に連絡をとり事故を未然に防止する対策をとる。
- ・ 警察署による交通安全教室・不審者への対応策の指導を受ける。
- ・ 消防署員立会いによる、避難・通報・消火訓練を行う。
- ・ 送迎時における安全確保のため、原則として保護者が児童の送迎を行うことを保護者に周知徹底する。

- ・ 交通安全指導及び固定遊具、乗り物玩具の使い方の指導を行い随時安全点検を行う。
- ・ 与薬については、医師の出した薬のみに限る。その際、必ず所定の用紙に記入するよう指導する。
- ・ 食中毒については、常に衛生管理に気をつけ、調理員については特に食中毒予防の三原則を守るように指導する。

#### ○ 地域との交流

- ・ 地域、老人会の方々を招待または訪問し、季節的な行事を通して世代間のふれあい活動を行う。
- ・ 卒園児を招き在園児と交流を深める。
- ・ 地域の在宅乳幼児を保育所に招き、在園児と一緒に遊びながら交流をもち、育児相談を受ける。
- ・ 地区の行事（陣原市民センターまつり・敬老会・陣原秋祭り等）に参加する。
- ・ 小学校・中学校・高等学校の生徒の体験学習やボランティアの受け入れを行う。
- ・ 園児と近隣の幼稚園・小学校児童との交流や幼稚園教諭・小学校教諭との連携を図る。

#### ○ 開所時間

午前7：00から午後7：00

（但し、午後6：00から午後7：00までは延長保育）

#### ○ 保育担当

担当保育士を定め、所長は総括的指導をする。調理担当は別に定める。

#### ○ 職員研修

- ・ 全国、県、市、区関係及び各保育士会関係の研究研修会の参加を通して園内研修を行い、相互研修を図る。
- ・ 日常の保育やカリキュラム作成時において、問題点を検討し共通理解を深める。
- ・ 保育者自身の自己研鑽を促し、資質の向上を図る。
- ・ 職員相互のコミュニケーションを図り、楽しい職場作りに努める。

#### 4. 保育担当者（別紙2の通り）

#### 5. 保育設備

(1) 敷地	北九州市八幡西区陣原三丁目23番9-201号	738.66㎡
(2) 建物	鉄筋コンクリート10階建の2階部分	980㎡

#### 6. 資金計画

通常経費は、運営費収入・私的契約利用料収入・経常経費補助金収入・雑収入

・受取利息配当金収入によるものとする。

[ 別 紙 1 ]

【 平成25年度主な行事 】

実施月	行 事	参 加 者	場 所・会 場
4 月	平成25年度 入所・進級式 平成25年度 進級児保護者説明会 固定遊具・施設の安全指導	全児・保護者 保 護 者 3歳以上児	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内・園 庭
5 月	こどもの日の集会 個人懇談（0歳児クラス） 健康診断 1回目 春の親子遠足 シルエット劇場 ごみ拾い 交通安全教室 陣原市民センターまつり	全 児 0歳児保護者 全 児 全児・保護者 年 長 児 4・5歳児・亀山会(老人会)・地域住民 全 児 年 長 児	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 未 定 北九州芸術劇場 保 育 所 周 辺 保 育 所 内 陣原市民センター
6 月	個人懇談（2・3歳児クラス） 歯科検診 虫歯予防デー集会 保育参観・講演会 プラネタリウム見学 蟻虫検査 職員健康診断	2・3歳児保護者 4・5歳児 全 児 全児・保護者 年 長 児 全 児 職 員	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 児 童 文 化 科 学 館 家 庭 保 育 所 内
7 月	プール開き 個人懇談（1・4・5歳児） 七夕まつり 卒園児同窓会 交通公園	全 児 1・4・5歳児保護者 全 児 卒 園 児 年 長 児	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 交 通 公 園
8 月	プール納め	全 児	保 育 所 内
9 月	老人ホーム訪問 ごみ拾い	年 長 児 4・5歳児	老人ホーム「駅前ふくち」 保 育 所 周 辺
10月	運動会 車椅子バスケット見学 皿倉山登山 陣原秋祭り 秋の遠足	全児・保護者・未入所児 卒園児・亀山会(老人会) 年 長 児 4・5歳児 年 長 児 0・1歳児 2歳児以上	陣 原 北 公 園 総 合 体 育 館 皿 倉 山 旗 頭 神 社 近 隣 公 園 到 津 の 森 公 園
11月	健康診断 2回目 七五三集会 一日保育士体験 トロッコ列車・関門トンネル・唐戸	全 児 全 児 地域住民・保護者 年 長 児	保 育 所 内 保 育 所 内 保 育 所 内 門 司 港 レ ト ロ

